



2012年 (平成24年) 9月4日 火曜日

埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市  
北区吉野町2-282-3  
本社代表 048-795-9930

## 7日に開幕の「国際フェア」で、書道を実演

# 「小江戸」欧州に発信

7日にフランス・ストラスブール市で開幕する国際展示会「ヨーロッパ・フェア」に川越の民間団体が組織する「川越style倶楽部」（日疋好春代表）が招待され、小江戸・川越の伝統文化をPRする。80回を迎える今回のフェアで日本が初めて「名誉招待国」に選ばれ、メインとなる日本の文化ステージを同倶楽部が代表して務めることになった。川越祭りや響く伝統のお雛子や書道、茶道、和菓子の実演などが行われる予定で、日疋代表は「原発事故による日本製品、観光への風評被害を払拭し、元気な埼玉、元気な日本を発信したい」と意気込んでいる。（沢田稔行）

### 川越style倶楽部

フランス北東部に位置し、最大級とされ、今回は25カ国ドイツとの国境近くのストラスブールが参加する予定。styleはストラスブールは川越と同様、歴史の街として知られる。運河に囲まれ、ノートルダム大聖堂やロアン宮などの歴史的な建築物が並ぶ町並みは世界遺産に登録されている。当地での国際フェアは欧州を進める現代日本の最先端技術を紹介します。また、最終日の

川越style倶楽部が2007年10月のニューヨーク公演で見た書道パフォーマンス（同倶楽部提供）



17日まで会場内の展示ブースで川越観光などをPRする。ステージ発表では県無形民俗文化財に指定されている「王蔵流・中台雛子連中」によるお雛子の音や踊りの演奏、女流書道家の矢部澄翔さんがダイナミックな書道パフォーマンスを披露する。ほかに武家茶道の小堀遠州

流師範・中村宗香さんによる茶道の実演や、慶応元年創業の和菓子店「紋蔵庵」の職人による和菓子作り、人形を題材にした節句行事の講演を行う。初日には、祝いの伝統行事「鏡開き」をストラスブール市長を交えて行う予定だ。style倶楽部は2007年から10年にかけて、同様の小江戸文化発信事業を米・ニューヨークや韓国、中国・上海、シンガポールで開き、こうした実績が評価されてフェアに招待された。今回のフランス公演は川越市制90周年記念事業に位置付けられ、同市や県が後援する。同フェア主催のゲスト国ホール責任者で、フランス人女性のエステル・ミケルさんは開催に先立ち川越市内を見学。「フランス人は結構、日本に憧れているけど、本当の日本文化を知らない人が多い。だから今回、川越の人たちがストラスブールに来てくれることは期待を超える素晴らしいものになるはず。本当の日本の伝統がフランスに伝わる」と話している。